

富業に重税、働く者に減税！

働く者の生活を保障せよ！

物價、一地位、家賃を値下げせよ！

市會(又は町、村)を働く者の手に！

市會又は町村を民衆の手に！

四、選挙直後の運動方針に關して

- 1、當選議員を監督統制するため黨支部(又は聯合會、分會)は各々の對策委員會を常設すべし。
- 2、當選、落選の如何に拘らず選挙による宣傳的收穫を有利に黨勢擴張に資するため選挙直後一切の必要なる戰術をとるべし。

外選挙費用に關し、本部應援に關し、選挙事務統一連絡に關し、各具體的に決定した。

かく闘争準備に基き戦ひ取つた此の期間の議員數は二十四市會議員及百七十八町村議員、計二百二名の數字に達した。

此の期間に於て最も熱烈なる選挙戦であり、歴史的勝利をした東京市會議戦に關しては、別に東京支部聯合會報告中に詳細を期してあるので省略するが、一月初頭に火蓋を切つた堺市議戦に際しては油谷虎松君一名を立候補せしめ、善戰、政友會の絶對地盤にゆう／＼當選の意氣を示したことは續く選挙戦に對し一層の力付けをなしたものだつた。二月尾々崎市議補缺選挙に際しては前改選に惜敗した矢田元市君を再び擁立、戰つた結果は同數當選であつたが残念にも年少者の理由により落選した。

續いて津市、長崎市、盛岡市、前橋市、和歌山市議戦に八名立候補中、津市一名、盛岡市一名の二名の獲得のみに止まつたことは既成政黨の買収戰の穢褻の結果であつたと云ふ事實を各選挙地の報告が同一にみとめてゐるところである。

四月に入ると横須賀市議戦六名立候補、仙臺市議戦三名立候補、神戸市議戦四名立候補、等の選挙戦に

は選挙運動のあり、該地方に於てやうやくにして横須賀市三名、神戸市一名の當選以外惜敗せしことば當然立候補方針に對し明かなる誤謬があつたことを認めねばならない。

大衆に四月末行はれた八幡市議戦に關しては我黨よりは十一名を擁し必勝を期して戰つた。この間、言辭を絶する未曾有の大暴壓をうけながらも戦ひ通した結果は、九名の輝ける代表をそれには實に血をもつて運び上げた尊き代表を圍ひ取ることが出来たのは内外の驚たんに價した。同地に於ては民憲黨よりも五名の當選者を出し、こゝに十四名からなる無産市議團を組織し、同市會は全々無産市會の觀さえる現狀である。

此の外此の期に於ける主なる選挙戦としては五月に入つて京都市議戦(四名立候補)の一名當選、及高知市議戦に於ける二名立候補の二名當選、しかも氏原一郎君は最高點で當選する等實に有産政黨を萎からしめた戦跡であつた。又宮城縣十七名、神奈川縣十四名、長野縣十六名、兵庫縣十名、東京府三十六名等町村會議員の獲得も重大なるものであつて、詳細なる報告も必要とするものであるが、紙面上省略する。之れら市町村會議戦の以外に一月には縣會の補缺戦を二ヶ所に行つた。

一、福岡縣會補缺 門司市 山内義治 一九九四票

一、福岡縣會補缺 嘉穂郡 花山清 五七〇〇票

右二名共に落選せしが兩選挙を通じて七千五百の大衆動員に成功し、その組織化に成功して居る現在を見た時この補缺戦のいかに重大であつたかを知るべきである。

この間、前田中反動内閣の最後の狂暴は記念すべきものであつた。その代表的選挙干渉、彈壓は前に八幡市に弘前市がある。前市議戦の彈壓振りは蓋し故内閣の最後の悲鳴に等しい狂的行爲であつた。

特に言論に對する封鎖の如き、實に言語に絶し、應援辯士の「政治を既成政黨に委ねておけん」で中止被束、「税金は富業に重く勤勞階級に軽くしなければ」で中止被束、「綿にも税金がかかつてゐる」で中止、等々がまがりなき實例があり、弘前市などはほとんど候補者の發言は封鎖され達した。